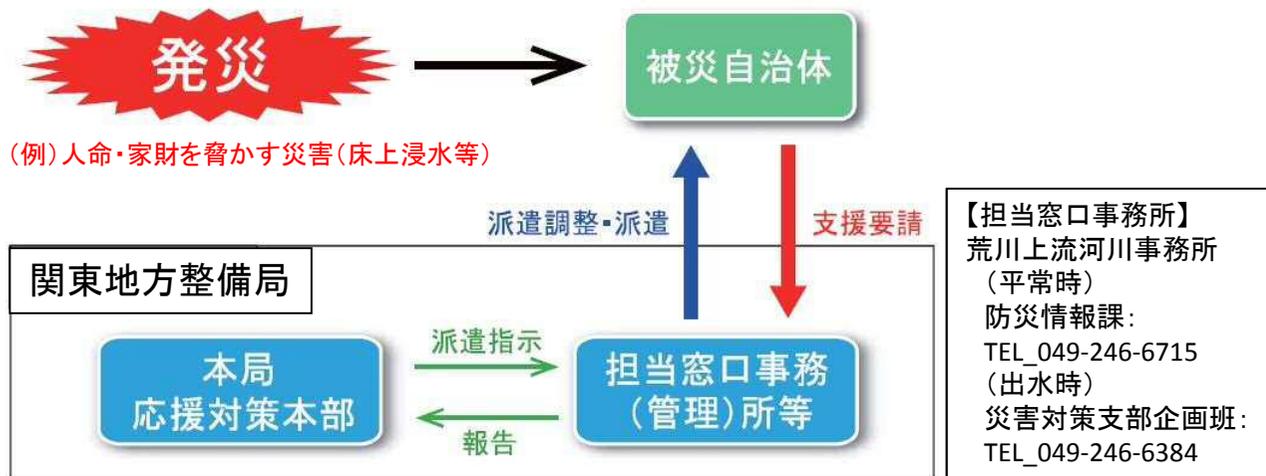


災害対策用機械の貸与について

資料11

国土交通省が保有する災害対策用機械は、無償で貸与できます。

災害対策用機械の自治体支援における出動手続きフロー



排水ポンプ車

大雨や洪水などにより溜まった水を排水する車両です。

対策本部車

被災地周辺において、現地対策本部として活用することが出来る車両です。

バックホウ(遠隔操縦式・分解組立型)

無線操作が可能のため、土砂崩れや岩盤崩落などの二次災害の恐れがある場所で、災害復旧活動を安全に行えます。また、緊急時には14ブロックに分解して、ヘリコプターで空輸することが可能です。

照明車

夜間でも作業が出来るように、照明で照らすことが出来る車両です。

応急組立橋

災害により橋が壊れた時、短期間で組立し、輸送路を確保します。

災害対策用ヘリコプター

機体概要 テレビカメラ、赤外線カメラ、画像伝送装置等を搭載したヘリコプター

使用目的 河川、海岸、道路等の大規模災害における広域情報の収集・伝送

- テレビカメラ: 現地被災情報を上空から把握するために搭載。画像伝送装置、機体後部のステームを利用して、地方整備局、本署、県道村長等でリアルタイムに映像を転送することが出来ます。
- 赤外線カメラ: 地上物の表面温度を赤外線画像として、取得するため、夜間における被災状況の把握や火山噴出時に活用することが出来ます。

Ku-SAT(可搬型衛星通信装置)

衛星通信車が入れない場所においても映像情報等を配信することが出来る装置です。

衛星通信車

被災状況をリアルタイムで監視するために映像情報を配信する車両です。

災害対策用ヘリコプターの配置

同はそれぞれのヘリコプターが約1時間程度で到達できる範囲を示す。

機種	ベル214ST
最大搭乗者数 ^{※1}	11人
最大巡航速度 ^{※2}	220km/h
最大巡航時間 ^{※2}	3時間30分
吊下げ能力 ^{※2}	1850kg
駐機場所	東京ヘリポート

※1: 最大搭乗者数は、操縦資格(操縦士、副操縦士、整備士、撮影技士)を含まない。
 ※2: 最大巡航速度、最大巡航時間、吊下げ能力は気象条件等により変動する。

様式一 1 1 (派遣要請様式)

道企 第 _____ 号
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

関東地方整備局長 殿

_____ 知事

災害対策用資機材等の派遣について (要請)

標記について、当県内において発生した災害対応のため、下記のとおり要請します。

記

1. 要 請 理 由 _____ のため
2. 引 渡 希 望 箇 所 _____ 都・県 _____
3. 引 渡 希 望 日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
4. 受 取 責 任 者 所属： _____ 氏名： _____
 電話： _____

5. 要請資機材の種類・規格・台数

資機材名等	規 格	数 量	備 考
		台	
		台	
		台	

6. 使用予定期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日～
7. 操 作 要 員 等

操作員 (_____ 名) 保守員 (_____ 名) 設置・撤去員 (_____ 名) 設置機材 (クレーン等) _____ 台	不必要・必要 (_____ 名) 不必要・必要 (_____ 名) 不必要・必要 (_____ 名) 不必要・必要 (_____ 名)
---	--

以 上